

● 手動 車いす



ブリージーカーボン

使用方法

 Breezy®

000691050.GB

目次

1. 重要な情報	3
2. 想定利用者	4
3. 車いす機能	6
4. 車いすの使用準備	7
5. 車いす操作	9
6. 車いすの輸送	12
7. 車いすの清掃とメンテナンス	13
8. 素材の廃棄 / リサイクル	14
9. 保証	15
10. 車いすの仕様	16
11. 追加情報	17
12. 銘板	18



重要:

本取扱説明書を読み、理解するまで、車いすを使用しないでください。

改正履歴

版数	ページ	修正内容	発行日
1	すべて	第一刷	2025年7月

1.重要な情報

こちらの情報をよくお読みいただくか、本取扱説明書の全内容を詳しく説明していただくようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、この機器を初めてご使用になる前や正式な受け渡し時に医療専門家*にご説明をお求めください。



本取扱説明書に、以下の重要なヒントと情報が記載されています：

- 安全性：
- 操作
- お手入れ&メンテナンス

本取扱説明書の内容は、お客様の新規車いすに関する一般的な事項をすべて網羅することを目的としております。継続的な製品改善および開発プログラムの一環として、予告なく変更が行われる場合がございます。この車いすは、お客様のために特別に処方されたものであり、記載されていない機能を備えている可能性があります。

本製品を最大限に活用し、快適にご使用いただくため、納品後まもなく、正式な引き渡し説明を行う手配がなされている場合があります。担当の医療専門家*より、事前にご連絡いたします。もしそうでない場合は、車いすのサービス担当までご連絡ください。

お届け前に、当社の専門スタッフが徹底的な出荷前点検を実施いたします。車いすを使用する前に、医療専門家、セラピスト、またはリハビリテーションエンジニアから適切な指導を受けている必要があります。

医療専門家*が、一連の最終安全点検を実施いたします。臨床上の要件に加え、社会的・環境的なニーズも考慮いたします。最適な快適さを確保するための必要な調整をすべて含みます。

A&I Industries LTD（機器メーカー）ならびに販売代理店、および処方権限を有する機関は、本取扱説明書に記載された使用方法または指示・助言に従わなかったことによる誤用・誤操作に起因する損害または負傷について、一切の責任を負いかねます。

* 医療専門家とは、リハビリテーションエンジニア、作業療法士、または車いすサービス担当者である可能性があります。

1.1 本取扱説明書における重要な記号

	この記号は、危険を警告しています！ この記号は、車いすの安全な使用に関連する警告または注意を示すために使用されます。怪我や製品の損傷を防ぐため、指示に従ってください。
	この記号は、車いすの操作をより簡単にするためのヒントや提案、および特別な機能についてご説明いたします。
	この記号は、車いすの操作中に実行すべきでない注意事項や提案を示しています。
	この記号は、異なる工具の使用やその他の調整が必要な場合、あるいはサービス/メンテナンスが必要となる可能性がある場合を示しています。適切な訓練を受けた、または専門的な知識を持つ方のみが実施すべきです。

1.2 車いす識別

各車いすには固有の識別番号/シリアル番号が印字されており、シリアル番号ラベルに記載されています。このラベルは、車いすの左側、後部の垂直または水平フレームチューブに取り付けられています。(図1 & 2)



このラベルには型式コードの表示も含まれており、車いすのサイズと色を示しております。

サンライズメディカルへお問い合わせの際には、こちらの情報をお伝えください。

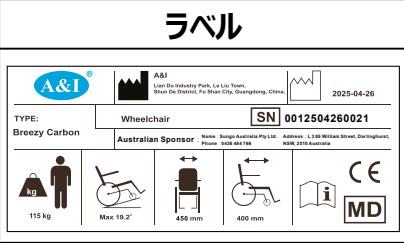
サンライズメディカルのお問い合わせ先は、以下です。：

サンライズ メディカル ジャパン 株式会社
〒349-1145 埼玉県加須市間口456番地1

email : info@sunrisemedical.jp
<https://sunrisemedical.jp/>

販売店の署名と捺印

1.3.車いすに取り付けられたラベル


ラベル	ラベルの意味
 <p>The label contains the following information: - Logo: A&I - Manufacturer: A&I, Lian Da Industry Park, La Lu Town, Shou De District, Wenzhou City, Zhejiang, China. Date: 2025-04-26 - TYPE: Breezy Carbon Wheelchair - SN: 0012504260021 - Australian Sponsor: Rangle Australia Pty Ltd, Address: 1118 Wilkes Street, Carlingford, NSW 1514 Australia, Phone: 088 084 182 - Safety icons: 115 kg weight limit, Max 19.2" seat height, 450 mm seat width, 400 mm seat depth, CE mark, and MD mark.</p>	ラベルには、機種番号、シリアル番号、最大使用者重量、および製造元の詳細が表示されています。


1.4.規則および規定

- この車いすは、EN 12183の要求事項を満たすよう製造されています。
- 本張地は ISO 7176-16 の規定を満たしています。可能な限りその他の材料は難燃性のものを使用しています。

1.5.改造および変更

許可されていない改造を行ったり、承認されていない部品を使用したりすると、車いすの構造が変更され、安全でない状態を引き起こす可能性があります。

 **サンライズメディカルおよび車いす提供者は、取扱説明書に記載された指示や助言に従わない誤った使用によって生じた損害について、一切の責任を負いません。**


 **製造元の推奨を超える方法で車いすを使用しようとする利用者は、重大な怪我や死亡に至る危険性があります。**

2.想定利用者


2.1 対象利用者


9.5インチホイールを使用したブリージーカーボンは、車いすを自走できない方、もしくは介助者や介護者の補助が必要な方向けの介助者が押すことを想定した介助者用車いすです。最大耐荷重は 115kg まで対応しています。

セクション12には車いすの仕様を示しています。

 **車いすの最大耐荷重には、利用者の体重に加え、車いすに取り付けられる可能性のあるトレイ、クッション、ヘッドレスト、酸素ボンベなどの付属品の重量も含まれます。そのような装備品は車いすの安定性に影響を及ぼす可能性がございますため、ご使用前にリスク評価を実施されることをお勧めいたします。**

- 旅程は、利用者をご自身の体力以上の負担をかけないように計画されるべきです。
- 利用者には、車いすの操作に熟達されていることが求められます。これには、様々な地形の見分け、障害物・穴・マンホールの蓋・格子状の蓋の回避能力、歩行者や道路交通、標識・障害物・危険物の認識といった身体的・視覚的な要求事項を考慮に入れる必要があります。例えば、道路の横断時や駐車車両の間での操作、ショッピングセンターやモールなどの歩行者が密集する区域での操作などが該当します。
- 車いす利用車を押す介助者や介護者は、ご自身よりもかなり体重が重い方を押す際の身体的負担、および様々な地形や傾斜地、坂道において車いすと利用者を制御するために必要な労力について、十分にご認識いただく必要があります。
- この車いすは歩行速度での使用を想定して設計されています。

 **車いすを押すために必要な身体的能力が、利用者、介護者、または介助者の能力を超える場合は、車いすの提供元にご相談ください。そのような場合には電動車いすの方が、お客様のニーズにより適しているかもしれません。**

 **ご自身の状態や能力（体重などの要因を含む）に何らかの変化が生じた場合は、車いすの提供元または医療専門家にご相談いただき、さらなる助言や情報をお求めください。**

2.2 使用用途

この車いすは、自宅、オフィス、公共の場所や建物、歩道、歩行者用通路、固い地面でのご使用を想定しております。本製品は、利用者が座席上で移動する際の補助を目的としております。はしごとしてのご使用、物品の引き上げや運搬手段としての使用、その他類似の用途にはお使いにならないようしてください。



車いすは、砂地、深い雪、ぬかるみ、泥などの柔らかい地面ではご使用にならないでください。安定性が損なわれる恐れがあります。



車いすを濡れた石畳や凍結した歩道など、濡れて滑りやすい路面で使用する際には、車輪が滑ったり、車いすを操作する介護者・介助者が滑ったりする恐れがありますので、十分ご注意ください。



暗闇や照明が不十分な場所での車いす利用について
暗闇や照明の乏しい場所において車いすをご利用の際は、車いすに取り付け可能な視認性の高いマーカーや反射板のご使用、あるいは蛍光ベスト・ベルト・アームバンドなどの視認性の高い反射素材の衣類のご着用をご検討ください。特に照明の乏しい場所や道路横断時にはご注意ください。



最大安全勾配

この車いすの安全な最大傾斜角度は10°です。車いすの安定性に関する詳細は、セクション5.4の注意事項およびガイダンスをご参照ください。



製造元の推奨を超える方法で車いすをご利用になろうとする利用者、介護者、介助者は、重大な怪我や死亡に至る危険性があります。

2.3 適用領域

適応

フィッティングのバリエーションとモジュラー式設計が豊富です。下記のような理由により、歩けない方や移動に制限がある方にお使い頂けます：

- 麻痺
- 四肢の喪失（脚部切断）
- 四肢の欠損変形
- 関節拘縮/関節損傷

心臓や循環不全、平衡感覚障害、悪液質などの病気、神経疾患パターン、筋ジストロフィー、片麻痺、また上半身にまだ力がある高齢者。

禁忌事項

以下の場合、車いすは介助者なしで使用してはなりません：

- 知覚障害
- 平衡失調
- 両腕の喪失（介助者がいない場合）
- 両腕の関節の拘縮や関節の損傷
- 座位障害

注意：

車いすの操縦には、十分な認知能力、身体能力、視覚能力が必要であることにご留意ください。使用者は車いすを操作している間、その行動の影響を評価し、必要であればそれを修正することができなければなりません。これらの機能および追加で取り付けられた部品の安全な使用については、製造元であるA&I Industries LTDでは評価できません。これに起因する損害については、一切責任を負いかねます。

車いすおよび追加取付部品の説明書をご参照ください。車いすと追加取付部品の安全な使用方法を使用者に指導してください。読み、理解し、遵守すべき特定の警告をユーザーに知らせてください。

3.車いす機能

3.1 車いすの説明

ブリージーカーボン介助用車いす(搬送)には、直径9.5インチの車輪が取り付けられています。

車いすの標準構成は下記の図2に示されており、主要な構成部品が識別されています。

- 1.プッシュハンドル
- 2.バックサポート
- 3.アームレスト
- 4.フットレスト
- 5.フットプレート
- 6.前輪キャスター
- 7.ブレーキ

図 2



車いすの折りたたみ方および展開方法については、セクション4.2をご参照ください。

詳細につきましては、セクション6「輸送」をご参照ください。車いすを使用していない場合の運搬についても、ご説明されています。

車いすの仕様詳細につきましては、セクション10をご参照ください。

3.2 車いす重量


車いすの以下の部品は取り外し可能です：-


- フットレスト


各部品の概算重量は以下の通りです：


フットレスト & フットプレート	各0.52 kg
車いす総重量:	8.6 kg
(外せる部分は取り外した状態)	7.2 kg


3.3 一般的な警告事項


 標準装備品として提供されている、あるいは利用者の処方者、医療専門家、車いす販売店により推奨されている取り外し可能な部品を、車いすの保管や輸送以外の目的で取り外すことはお勧めできません。これにより、利用者による車いすの正しい使用が妨げられ、また完全な装備がもたらす有益な効果が損なわれる可能性があります。


 車いすをご利用の際は、火災の危険を避けるため、喫煙や火のそば、熱源の近くに停めることをお控えください。


 車いすは直射日光の当たる場所に保管しないでください。直射日光などの熱により、車いすのフレームやシートカバーなどの部品の温度が上昇し、熱くて触れない場合があります。

 霜などの低温は逆の効果をもたらし、フレームの一部が非常に冷たくなる可能性があります。

 バッグやリュックサックなどの物品を、車いすのプッシュハンドルの後ろ部分に掛けないでください。これにより車いすが過負荷状態となり、安定性が損なわれる恐れがあります。ひっくり返る原因となります。

 車いすの耐荷重を超えないでください。また、一人以上を乗せて搬送しないでください。ご自身の体重に変化を感じられた場合は、お早めに医療専門家に相談してください。

 クッションを使用すると座高が高くなり、車いすの安定性が低下する可能性があります。

 一部の機能やアクセサリは、安定性に影響を及ぼす可能性があります。医療従事者より、車いすの安定性に関する指導が受けられます。クッションやアクセサリを装着される際には、必ずご相談ください。

4. 車いすの使用準備

車いすは組み立て済みの状態で届かずです。ご使用前に、全ての包装材を取り外してください。車いすをご利用になったことがない場合、またはご自身の車いすの機能についてご不明な点がございましたら、お手数ですが医療従事者、車いす販売店、または車いすサービス提供者までご連絡いただき、ご支援を受けてください。車いすをご利用になる前に、特定の指示を受ける必要があると伝えられている場合は、ご自身の安全のため、その指示をお待ちいただくことが重要です。

このアドバイスは、車いすの使用に慣れていない介護者や介助者の方にも適用されます。これにより、利用者の安全を確保することができます。

車いすをご利用になる前に、以下の調整・設定が実施されていることをご確認ください。

車いすの調整は、適切な訓練を受けた、または資格を有する担当者によって行われることをお勧めいたします。下記の調整に関する情報は、医療専門家の方を対象としております。

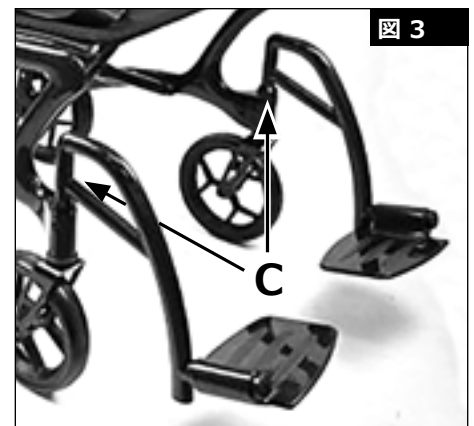
4.1 フットレストの着脱


フットレストアセンブリの取り外し方法：

フック C を上方に引き上げ、フットレストを外側にスイングさせて、フレームから外してください。(図 3)

フットレストアセンブリの取り付け方法：

フロントフレームにあるフットレストを所定の位置に配置し、車いすの中心部まで回転させてください。確実に固定されるまで操作します。




 フットレスト取付アセンブリを取り付ける際は、怪我や物的損害を防ぐため、指やその他の物品を近づけないでください。

4.2 車いすの折りたたみと展開（使用時）

背もたれを広げる:

背もたれを直立位置にセットする際は、ハンドルを上方かつ前方へ押し上げ、確実にロックされるまで操作してください。

 **背もたれを折りたたむ際は、指やその他の物を折りたたみ機構から離しておいてください。これにより、怪我や物的損害を防ぐことができます。**

背もたれを折りたたむ:

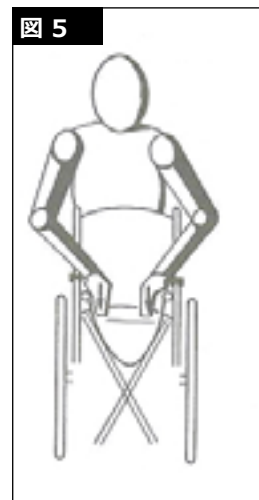
背もたれは折りたたむので、車いすの収納が容易になります。


背もたれを折りたたむには、車いすの後ろに立ち、背もたれの両側（アームレストのすぐ上）にある二つの小さなレバー（A）を押してください。背もたれを折りたたみます。（図 4）



車いすを完全に展開する(図 5)

1. 片方または両方のプッシュハンドルを握り、背もたれを垂直位置まで引き上げます。この位置で確実にロックされていることを確認してください。両方のプッシュハンドルが所定の位置にロックされていることを確認してください。
2. 指先をシート中央に向けた状態で、手のひらでシートの側面を押しながら、車いすが完全に開くまで押し下げてください。
3. 車いすは座面が張って平坦な状態のとき完全に展開されています。



 **シート側面を指で触れないでください。指がシートとフレームの間に挟まる恐れがあります。**

車いす全体を折りたたむ(図 6)

1. シート生地の前中央部分を掴み、勢いよく上方向に引っ張ってください。これにより車いすが部分的に閉じられます。
2. 両側を同時に押して、車いすを完全に折りたたんでください。完全に折りたたんだ際に、シートがフレームに巻き込まれないようにご注意ください。
3. 必要に応じて、レバーを引き上げ、プッシュハンドルを下げて、背もたれを倒します。



4.3 ブレーキ

車いすのブレーキは以下の方法で操作できます：

ブレーキの操作方法：

背もたれ後部のプッシュハンドルにあるレバーハンドルを握り、ブレーキをかけます。ハンドルにはロック機構が備わっており、ブレーキレバーを握るとブレーキがロックされ、ブレーキが効いた状態を維持します。(図. 7)



レバーを握ってハブブレーキを操作します

ブレーキの解除方法：

ハンドルを軽く握り、ロックの引き金を外します。ブレーキを解除する際は、車いすが制御不能にならないよう、プッシュハンドルをしっかり握るなど、十分にお気をつけください。例えば、坂道での使用中など。

! ブレーキ操作をする際は、怪我や物的損害を防ぐため、介助者用ブレーキラチェットに、指やその他の物品を近づけないでください。

4.4 ステップチューブ

介助者は、車いすの障害物越えの際に、車いすを傾けるためにステップチューブを使用します。例えば、車いすを縁石や段差を乗り越える際には、チューブを踏むだけで大丈夫です。

! **警告！**
ステップチューブの不適切な設置は、後方への転倒リスクを高める可能性があります。

5. 車いす操作

5.1 車いすの乗り降り

車いすに自力で乗る(図 8)

- 壁または頑丈な家具に寄りかかるように車いすを置きます；
- ブレーキは掛けておきます；
- フットプレートは、上に折りたたんでおきます；
- その後、利用者は車いすに腰を下ろすことができます；
- そして、フットプレートは押し下げ、足をその上に置きます。





車いすから自力で降りる(図 9)


- フットプレートは、上に折りたたんでおきます；
- 両腕をそれぞれアームレストに置き、体を少し前傾させて体重をシート前方に移し、両足を地面にしっかり着けた状態で、片足を十分に後ろに引き、体を押し上げて直立姿勢にすることが望ましいです。




! 立ち上がっている際は、フットプレートの上に立たないでください。そうしないと、車いすがひっくり返ります。車いすに乗り込む際には、フットプレートを上に上げて邪魔にならないようにするか、車いすから外す方が簡単で安全です。

5.2 シートベルト

	
バックルを留める: 雄バックルを雌バックルにしっかりと押し込んでください。	ベルトを外す: バックルの雄側の露出面を押し、中心に向かって押し込みながら、軽く引き離してください。

 シートベルトの使用方法や操作についてご不明な点がございましたら、医療従事者、車いす販売店、介護者、または介助者にお尋ねください。

 車いすと利用者を車両で輸送する際は、シートベルトのみに頼らないでください。車両に装備されている、乗員用の腰ベルトと斜めのベルトをそれぞれご使用ください。輸送に関する詳細はセクション6をご覧ください。


5.3 車いすの使用法


車いすを使用する際は、出発前に必ず以下の点検を行ってください：

- 前輪キャスターが自由に回転し、車輪がスムーズに動き、タイヤに損傷がないかご確認ください。
- 後輪に損傷がないかご確認ください。
- シートと背もたれに、切れ傷や破れによる損傷がないこと、また過度なへたりが見られないことをご確認ください。
- 取り外し可能な部品が全て車いすに再装着されていることをご確認ください。
- フットレストなど取り外し可能な部品が、再装着時に確実に固定され、車いす使用中に外れないことをご確認ください。

介助者が押す

車いすに座っている利用者と常にコミュニケーションと取りましょう。お店のショーウィンドウを見る際や、話す際には、車いす利用者が体をひねったり傾けたりする必要がないよう、車いすの向きを調整するのをお忘れなく。


 坂道、特に上り坂において、利用者と車いすを押すことが身体的に可能であることを必ずご確認ください。また、車いすが後方に倒れる場合に備えて、十分な心の準備をしておきましょう。

 利用者の身体や衣服のすべての部分、また毛布やブランケットなどが、車輪などの可動部分から離れていることを必ずご確認ください。

縁石の上り下り

これは、介護者または介助者が車いすを操作している場合にのみ行ってください。

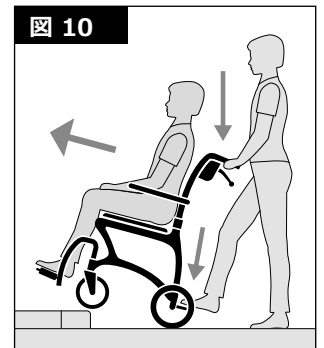
介護者・介助者の方は、車いすが後方に傾いた際には利用者の体重をより多く支えることになる点にご留意ください。また、利用者の体重が重いほど、支えるべき重量も増えます。万が一、この方法が安全でないと思われる場合は、段差解消スロープや縁石の低くなった箇所をご利用ください。利用者やご自身に怪我の危険が及ぶことのないよう、十分ご注意ください。

 車いすは決して前方に傾けないでください。乗っている方が転落する恐れがあります。

縁石を上げる (図 10)

- 第一方法

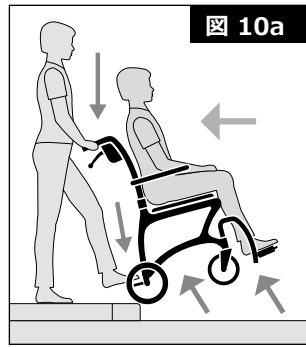
- 車いすのフットプレート（または、足の方が長い場合は利用者の足）を、縁石の端まで移動させます。
- 介助者は車いすのプッシュハンドルをしっかりと握り、車いすを後方に傾けます。片足をティッピングレバーにかけ、慎重に車いすを後方へ倒します。



- 車いすは、車輪の後部が縁石に触れるまで前方に移動させてください。
- 前輪を地面に下ろします。
- 介助者は、プッシュハンドルをしっかりと握った状態で、車いすを持ち上げながら前方に押し進めます。

- 第二方法 (図 10a)

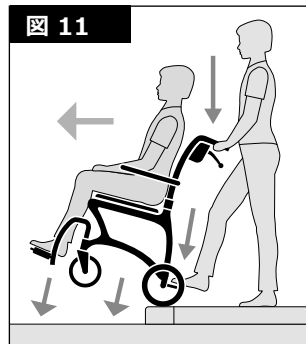
- 車いすは、後輪が縁石に当たるように向きを変えます；
- 介助者は車いすのプッシュハンドルをしっかりと握り、片足でティッピングレバーを押し下げ、車いすを後方に傾けて大きな車輪でバランスを取ってください。



- 介助者はご自身の体重を利用して、車いすを縁石から引き上げ、歩道へ移動させてください。

縁石を下りる (図 11)

- 車いすのキャスターを縁石の端まで移動させます。
- 介助者は車いすのプッシュハンドルをしっかりと握り、片足でティッピングレバーを押し下げ、車いすを後方に傾けて大きな車輪でバランスを取ってください。



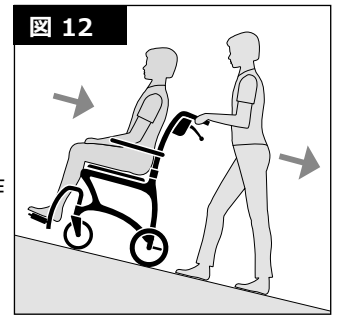
- 大きな車輪を縁石の端まで移動させます。
- 車いすは、後輪をゆっくりと縁石から降ろした後、キャスターを地面にそっと下ろしてください。

! 車いすは決して前方に傾けないでください。乗っている方が転落する恐れがあります。

急な斜面を下る (図 12)

! 最大推奨勾配を超える傾斜地での車いすの使用は、利用者に危険を及ぼす可能性があります。そのような傾斜が避けられない場合には：

- 車いすを後方に倒す方が介助者にとってより安全です。
- 利用者が車輪やブレーキを操作すると介助者が楽かもしれません。
- 利用者の体重は車いすの操作性に大きな影響を及ぼします。体重が重いほど、車いすの操作は難しくなります。



この車いすが使用可能な最大安全傾斜については、セクション 2.2をご参照ください。

5.4 車いすの安定性

特定の動作や動きは、車いすの安定性に影響を与える可能性があります。

以下の要因は、車いすの安定性に影響を及ぼす可能性があります：

! 利用者の体の動き

手を伸ばす - 体を前方に曲げる	
×	車いすから体を前方に傾ける際は、アームレストの長さを超えないようご注意ください。安定性が損なわれる可能性があります。
×	床にある物を拾おうとしたり、スイッチに手を伸ばそうとしたりする際、前かがみになったり膝の間から手を伸ばしたりすることは、体のバランスを崩す恐れがあるので、お控えください。
×	車いすのシート前端まで移動して物に手を伸ばそうとしないでください。これにより安定性が損なわれる可能性があります。
✓	坂道を登る際には前傾姿勢をとることで後方への安定性が向上し、斜面を横切る際には上半身を登り方向に向けて傾けることで横方向の安定性が向上します。

手を伸ばす - 体を後方に曲げる	
×	座る姿勢を変えずに、腕が伸びきる範囲を超えて後ろに手を伸ばさないでください。安定性が損なわれる可能性があります。
×	背もたれの上部に身を乗り出さないでください。重心位置がずれるため、転倒の危険があります。
×	背もたれに重い荷物や物を掛けないでください。車いすを不安定にする可能性があります。特に傾斜地では注意が必要です。

✓	マジックハンドなどの補助具を使用することで、上半身の動きを軽減することが可能です。詳細については、担当の医療専門家に直接お問い合わせください。
----------	---

! **体重比率：**
上半身の体重と身長、下肢の切断、肥満、非対称的な体位（片側に傾くこと）、および筋肉のけいれんは、安定性に影響を及ぼす可能性があります。

! **動作環境：**
丘、斜面、スロープ、傾斜のある歩道、段差解消縁石も安定性に影響を及ぼします。特に、斜面上の小さな障害物に接触した場合や、障害物に衝突した場合などが該当します。傾斜面は決して横向きに進んではいけません。これらは、利用者が車いすから前方へ滑り落ちたり、転倒したりする原因となる可能性があります。

! **付属品またはその他の機器：**
一般に、付属品は車いすの安定性に影響を及ぼします。シートクッションは重心を高くし、車いすの安定性を全方向に低下させます。背もたれクッションは重心を前方へ移動させるため、後方への安定性は向上しますが、前方への安定性は低下します。

! **安定性とその影響について、ご自身または介護者・介助者の方がさらに詳しいアドバイスを必要とされる場合は、医療専門家、車いす販売店、または車いすサービス提供者にご連絡いただき、詳細な情報をお問い合わせください。**

6. 車いすの輸送

車いすが無人状態で輸送される場合、車や飛行機で旅行する際は、手荷物として預けることもできます。車いすは折りたたむことで、収納スペースを節約できます。車いすが輸送中に動かないよう、しっかりと固定されていることをご確認ください。

6.1 車いすを車のトランクに載せる (図 13)

! 可能な限り、誰かに手伝ってもらいましょう。

- 車いすを持ち上げる前に、取り外し可能な部品はすべて外しておくことをお勧めいたします。
- 折りたたみ式車いす（フットレストを外し、必要に応じて車輪も外した状態）は、車のトランクに近づけて、トランクと平行になるように置いてください。（図18）
- 車いすの固定された部分のうち、握りやすい箇所を、片手は前方に、もう片方は後方にしっかり握るようしてください。



- 背筋を伸ばしたまま、腰と膝を曲げ、脚を伸ばして車いすを（垂直に）持ち上げ、トランクの縁にバランスを取って乗せてください。
- 車輪の重みがトランクの縁にかかるようにして、車いすは持ち上げている人に向けて傾けてください。ほぼ水平になったら、トランク内に滑り込ませることができます。

6.2 機内での収納

- 取り外し可能な部品は、車いす本体に固定するか、別々に保管して、積み込み・積み下ろしの際に紛失しないようご注意ください。
- ご利用の航空会社にご連絡いただき、車いすの移動および積み込みに関する指示に従ってください。

車いすを保管場所または荷室から取り出した際は：

- 車いすが輸送中に損傷していないかご確認ください。例えば、固定されていない他の荷物や物が車いすの上に落下したり、衝撃による損傷などがなくないかなど。
- 取り外した部品はすべて、車いすの使用再開時に必ず元に戻してご利用ください。

! 車いすを利用する前に、必ずセクション7.1の点検リストに従い、正常に作動していることをご確認ください。

7. 車いすの清掃とメンテナンス

この車いすは、最小限のメンテナンスで済むよう設計されています。車いすを購入した販売店、または修理・請負業者は、メンテナンス手引書や交換部品カタログなどの設備を備えております。問題や事故が発生した場合でも、車いすと利用者の移動手段を維持するための修理・メンテナンスを実施いたします。

7.1 推奨される点検項目

車いすを利用する前に、以下の点検を実施されることをお勧めします。

ブレーキ：

- ブレーキを操作し、確実に作動していることをご確認ください。

前輪(キャスト)：

- 前輪キャストが自由に回転し、車輪がスムーズに動き、タイヤに損傷がないかご確認ください。
- キャスターの取り付けがしっかりしているか、また遊びがないかご確認ください。

リアホイール（後輪）：

- 後輪に損傷がないかご確認ください。
- ホイールにたわみや過剰な動きがないかご確認ください。

生地製品：

- シートと背もたれに損傷、裂け目、切り傷などがいないか、また過度なへたりが見られないかご確認ください。損傷した内装は、交換が必要になる場合がございます。
- 固定ネジの損傷および締め具合をご確認ください。

折りたたみ支点、フットレスト支点：

- 12ヶ月に1度程度の頻度で、支点部分への注油（スリーインワンオイルまたは同様の軽油を使用）を行っていただきますと、操作がスムーズになります。

アクセサリ：

- フットレストなど取り外し可能な部品が、再装着時に確実に固定され、車いす使用中に外れないことをご確認ください。

腰ベルト：

- 腰ベルトおよび固定部品にほつれや損傷の兆候がないか確認し、必要に応じて交換してください。
- バックルが正しく作動することを確認してください。

少なくとも年に一度は、販売店または修理業者に車いすの点検と整備を、依頼されることをお勧めします。

7.2 車いすの清掃

- 汚れたりほこりがたまったりした場合は、布地を湿らせた布で拭いてください。汚れはぬるま湯と石鹼水で落とせます。
- ご使用前に車いすが乾いているか確認してください。



複数の人が同じ車いすを使用する場合は、交差感染を防ぐために車いすを十分に洗浄することが重要です。


7.3 保守とメンテナンス


手動式車いすにおける計画的な予防サービスレベルについて、指針が発行されます。これらのガイドラインは、サービス期間における車いすの使用状況に基づいて作成されています。

下記の表はサービス頻度を示しております。これらは推奨値ですが、発行時の利用者評価（リスク評価を含む）、既存のサービス保守記録・サービス履歴記録の利用、利用者の状況変化（例：交通手段の変更）などに基づき、適宜見直すことが可能です。必要に応じて、サンライズメディカルがさらなるご案内を差し上げることも可能です。

利用者 カテゴリー	定義	保守 頻度
介助者が 押す	搬送用車いす - 主に屋内での使用、時折ショッピングモールへの外出に使用	初回点検12か月 その後の点検 5年間

ご利用前に、推奨される点検が確実に実施されていることをご確認ください。セクション7.1参照。

 サンライズメディカル社より推奨されている固定具および交換部品のみをご使用ください。承認されていない締結部品や交換部品を使用すると、保証が無効になる場合があります。

 車いすに不具合があると思われる場合は、医療従事者、車いすの販売店、または修理業者にご連絡いただき、車いすの点検をお願いしてください。

8. 素材の廃棄 / リサイクル



無償でご提供された車いすは、ご自身の所有物ではない可能性があります。必要がなくなった場合は、車いすを貸与した組織からの指示に従い、返却してください。

以下の情報は、車いすの廃棄またはリサイクル、ならびにその包装材料と車いすに使用されている材料について説明しています。

特定の廃棄物処理またはリサイクルに関する規制が地域で施行されている場合がありますので、廃棄物処理の手配を行う際には、これらを考慮に入れる必要があります。（これには、廃棄前の車いすの清掃または除染が含まれる場合があります。）

カーボンファイバー：フレーム、クロスブレース、アームレスト、レッグレスト、フットプレート、プッシュハンドル

アルミニウム：フロントフォーク、ブレーキ

ホイール：プラスチック ホイールハブ PUタイヤ

梱包：低密度ポリエチレン袋、段ボール箱

生地製品：メッシュシート、背もたれクッション

廃棄またはリサイクルは、認可を受けた業者または認可された廃棄処理施設を通じて行うべきです。

9.保証

お近くのサービス代理店の住所と電話番号を下記スペースにメモしておいてください。

故障の際には、迅速に対応できるよう、関連するすべての情報を伝えるようにしてください。

本書に記載されている製品は、お客様がお持ちの機種と細部まで完全に同じでない場合があります。しかし、すべての指示は、詳細の違いに関係なく、すべて完全に関連しています。

製造元は、本書に記載されている重量、寸法、その他の技術データを予告なく変更する権利を有します。本書に記載されている数値、寸法、容量は概算であり、構成要素となる仕様ではありません。

これはお客様の法定権利に影響を与えるものではありません。

- b. 放置、事故、不適切な使用により製品または部品が損傷した場合。
- c. 製造元の仕様から変更された製品または部品を使用した、もしくはサービス代理店への連絡する前に修理が試みられた場合。

お客様の法的権利には影響を及ぼしません！

保証条件

1. 修理または交換は、正規販売店またはサービス代理店にて行われます。
2. 保証条件を適用するため、本規定に基づき製品の修理が必要となった場合は、速やかに指定サービス代理店までご連絡ください。その際、不具合の内容について詳細な情報をお知らせください。本製品を指定サービス代理店の所在地以外でご利用になる場合、「保証条件」に基づく作業は、製造元が指定する他のサービス代理店によって実施されません。
3. 車いすの部品が、製造上の欠陥または材料の欠陥により修理または交換が必要となった場合、フレームおよびクロスブレースは60ヶ月以内、アームレストおよびフットプレートは24ヶ月以内、背もたれ/シート張地、車輪（前輪・後輪）、介助者用ブレーキについては6か月以内の間、製品が最初の購入者に引き渡された日から起算して、当該所有権が継続している場合に限り、該当部品を認定サービス代理店へご返送いただければ、無償で修理または交換いたします。

注意：本保証は譲渡できません。

4. 修理または交換された部品は、車いすに適用される保証期間の残存期間において、本保証の適用対象となります。
5. 初回保証期間が終了した後に交換された部品については、さらに24ヶ月間の保証が適用されます。
6. 消耗品に該当する部品につきましては、通常、保証期間内においても対象外となります。ただし、当該部品が製造上の欠陥に起因して明らかに異常な摩耗が生じた場合を除きます。これらの品目には、とりわけ、インナーチューブ、タイヤ、張地および類似の部品などが含まれます。
7. 上記保証条件は、定価でご購入いただいた機種のすべての製品部品に適用されます。
8. 通常の場合、以下の直接的な結果として製品の修理または交換が必要となった場合、当社は一切の責任を負いません：
 - a. 製品または部品が、取扱説明書および／または保守マニュアルに記載されている製造元の推奨事項に従って、適切な保守または点検が行われていない場合。または、指定された純正部品以外が使用された場合。

10.車いすの仕様

車いすのサイズは、シート幅とシート奥行きにおいて、お客様のニーズに合ったものをお選びください。ご不明な点がございましたら、医療従事者、車いすの処方担当者、または車いす販売店にご相談ください。

ブリージーカーボン仕様：

アームレスト	折りたたみ式 アーム
生地製品	ブラック
ブレーキ	介助者ブレーキ
キャスター	8" ソリッド
ホイール	9.5" ソリッド
プッシュハンドル	固定式 930mm 地面からハンドルまで
フットレスト	スイングアウェイ 着脱式
バックレスト高	485mm

標準規格		
	全長（レッグレスト込み）	970mm
	全幅	620mm
	折りたたみ時の長さ	750mm
	折りたたみ時の幅	260mm
	折りたたみ時の高さ	770mm
	総質量	8.6 kg
	最も重い部分の質量	0.526 kg
	下り坂での静的安定性	10°
	上り坂での静的安定性	10°
	横方向の静的安定性	10°
	シートプラン角度	4°
	有効シート奥行	400mm
	有効シート幅	450mm
	前座高	510mm
	背角度	98°
	バックレスト高	485mm
	フットレストからシートまでの長さ	430mm
	脚から座面までの角度	12°
	アームレストからシートまでの長さ	235mm
	最小回転半径	850mm

車いすは以下の規格に適合しています：

ISO 7176-1	静的安定性の判定	あり・
ISO 7176-3	ブレーキの効き判定	あり・
ISO 7176-7	シートおよび車輪の寸法測定	あり・
ISO 7176-8	静的強度、衝撃強度、疲労強度に関する要求事項と試験方法	あり・



製造住所：

A&I INDUSTRIES LTD.
Lian Du Industry Park, Le Liu Town,
Shun De District, Fo Shan City, Guangdong,
China.
Tel.: +86-0757-23662071
Http://www.ani-rehab.com

11. 追加情報

医療当局の詳細情報

修理請負業者／販売代理店

当社の車いすの設計における継続的な改善方針により、製品仕様は図示の例と若干異なる場合があります。

すべての重量/寸法および性能データは概算であり、あくまでも参考として提供されるものです。

CE 製造元であるA&I Industries LTDは、本製品が医療機器規則（2017/745）に適合していることを宣言いたします。

すべての車いすは、製造業者のガイドラインに従って使用しなければなりません。

この製品の想定される耐用年数は、以下を条件として5年です：

利用者及び／又は患者への通知：機器に関連して発生したいかなる重大な事故も、製造業者および使用者または患者が居住する加盟国の所轄官庁に報告されなければなりません。

また当社は、ユーザー情報を読んだ後に廃棄せず、今後の参考のために安全に保管することを推奨しています。



当社は、研究開発から生産までのすべての段階において、製品の品質を保証するISO-13485の認証を取得しています。本製品は、EU、英国、オーストラリアの規制で定められた基準に準拠しています。表示されているオプションやアクセサリは有償での販売となります。

再使用時の衛生対策：

車いすを再利用する前に、入念な準備が必要です。使用者と接触するすべての表面は、消毒スプレーで処理しなければなりません。











そのためには、速やかに消毒する必要がある医療品や医療機器には、その国で認可／推奨されている即効性のあるアルコール系消毒剤を使用する必要があります。

使用する消毒剤のメーカーの指示に注意してください。

一般的に、縫い目を完全に消毒することは保証できません。従って、活性剤による微小細菌汚染を避けるため、お住まいの地域の感染防止法に従って、座布および背布を廃棄することをお勧めします。

12. 銘板

タイプ：	製品名/SKU番号
	転倒防止チューブ装着時の最大安全傾斜角度は、車いすの設定、使用者の姿勢および身体能力によって異なります。
	シート幅
	シート奥行き
	最大耐荷重
	CEマーク
	使用上の注意をよく読むこと
	製造年月日
	シリアルナンバー
	このマークは医療機器を意味する
	製造元の住所
	輸入者の住所

	 A&I Lian Du Industry Park, Le Liu Town, Shun De District, Fo Shan City, Guangdong, China.	 2025-04-26
TYPE: Breezy Carbon	Wheelchair	SN 0012504260021
Australian Sponsor Name: Sungo Australia Pty Ltd. Address: L 3 85 William Street, Darlinghurst, NSW, 2010 Australia. Phone: 0436 484 766		
 115 kg	 Max 19.2°	 450 mm
	 400 mm	  



ISO 7010-M002
取扱説明書/小冊子は必ずお読み
ください！！(青いアイコン)





Sunrise Medical Australia
11 Daniel Street
Wetherill Park NSW 2164
Australia
Ph: +61 2 9678 6600
E: enquiries@sunrisemedical.com.au
www.SunriseMedical.com.au



Enjoy freedom life!



A&I INDUSTRIES LTD. SHUNDE,
FOSHAN
Lian Du Industry Park,
Le Liu Town,
Shun De District,
Fo Shan City,
Guangdong, China.

サンライズ メディカル ジャパン 株式会社
〒349-1145
埼玉県加須市間口456番地1
email : info@sunrisemedical.jp
<https://sunrisemedical.jp/>



OM_Breezy Carbon_EU_AU_
Rev.A_2025-07-25